

提案型協働事業計画書 (初動支援交付金)

申請団体の概要	団体名	TakeLink(タケリンク)		
	設立年月日	令和7年11月1日	団体の構成人数	9人
	活動目的	武豊町の若者が当事者意識をもって、地域課題解決を目指す“挑戦の場”を生み出す。多様なツールを通じて武豊町の魅力を発信することで、若者がまちに愛着とつながりを育める環境をつくる		
	活動概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者イベントやボランティア、町の魅力を発信する広報活動</li> <li>・学生・住民・行政の交流の場、イベントづくり</li> <li>・若者が地域課題について解決策を考え、実施まで行う</li> <li>・地域団体・住民・若者の交流を促し、継続的な地域活性化につながる基盤を形成する</li> </ul>		
1 事業の名称及び実施期間	名称：武豊町若者参加促進事業 期間：令和8年 4月 1日から 令和9年 3月31日			
2 該当する第6次武豊町総合計画の9つのまちづくりの目標	8. 多様な主体が連携・協働するまち (まちづくり・地域経営)			
3 事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が地域の課題や魅力に気づき、主体的に関わる姿勢を育む</li> <li>・地域活動への参加機会を増やし、まちの担い手となる人材を育成する</li> <li>・オフラインとオンラインの両面から、若者と地域をつなぐ仕組みをつくる</li> </ul>			
4 地域課題との関連	<p>武豊町町民意識調査 (R6) では、今後も武豊町で暮らしたいと回答した若者 (15~29 歳) が 29%、愛着があると回答した若者は 45%と低くなっている。また、20 代の地域行事への参加率は 36.5%と他の年代と比べ低くなっており、ボランティア活動への参加率も 13.5%と同様である。これらのことから、地域とのつながりの希薄化や町への愛着の低下による地元離れが懸念される。</p> <p>内閣府の「子供・若者白書 (R4)」では、当人が持っている居場所の数が自己肯定感や幸福度に比例する結果が得られており、多様な若者の挑戦を叶えられ、地域の一員としてやりがいを感じられる場を提供していきたい。</p>			
5 事業の内容等 (1) 事業内容と方法 (2) 実施場所 (3) 対象者 (人数等具体的に) (4) 事業PRの方法 (5) その他	(1) ①T ベース (4月~3月) 概要：若者が趣味・特技で繋がる交流会を開催。交流する中で、参加した若者がやりたいことや地域課題を話し合い、若者主体で地域課題の発見と解決に取り組む。 スケジュール： 4~6月 交流会を通し、武豊町内での地域課題を知り、考える ↳住民にアンケート、ヒアリングなども実施する			

	<p>6月～9月 地域課題解決実施①（例：高齢者孤独）  9月～12月 地域課題解決実施②（例：子どもの居場所）  （交流会で挙げた地域課題の中から、二つの地域課題について解決する）  1月～2月 投票率の課題解決実施  ↳2月14日愛知県知事選挙での選挙啓発運動を実施  （12月～3月 今年度の振り返り、引継ぎ、次年度の事業案構築、次年度の役員選考）</p> <p>日時：平日の午後（月1回程度開催）  場所：図書館などの公共施設（オンラインでの実施も検討中）  ターゲット：町内の若者  （実施例：愛知県豊田市のWAKATTE(ワカッテ)）</p> <p>②ボラリンク（2月14日）  概要：武豊町でボランティアを求める団体と、ボランティア活動を希望する人を結びつけるワークショップを行う。また、選挙啓発も行う。  日時：休日  場所：武豊町内駅近施設（社会福祉協議会二階など）  ターゲット：町内外の人  （実施例：名古屋市と社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会のぼらマッチ！なごや）</p> <p>③リンクネット  ↳若者と武豊を繋ぐツールの運用  →LINE オープンチャットの開設、TikTok・Instagram・Xの運用  ↳町内のイベント、ボランティアの広報  ↳飲食店、観光など武豊町の良さを発信  （実施例：名城大学の地域活性化応援サポーター）</p> <p>(2)武豊町内</p> <p>(3)武豊町内の若者（小学生～大学生、20代社会人）/約500人  / 町内外たくさんの人（広報）</p> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Instagram/XなどのSNS</li> <li>・町公式SNS・広報誌との連携</li> <li>・町内学校・公共施設への掲示</li> </ul> <p>(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントには地元団体や企業の協力を得ながら実施</li> <li>・アンケートで効果を測定し次年度に反映</li> <li>・来年度以降を見据えた企業・地元団体・店舗との関係づくり</li> </ul>
<p>6 事業実施により期待される効果  (1)地域社会への効果</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者と地域の接点が増え、町全体の活気が向上する</li> <li>・子ども～若者～大人の世代間交流が生まれ、町への愛着が</li> </ul>

<p>(2) 貴団体の発展を促す効果</p>	<p>醸成される</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲食店や地域資源の認知が向上し、町内外への魅力発信に繋がる</li> <li>・ 若者主体イベントの開催により、挑戦できる場を提供することで、若者の挑戦が地域課題解決の芽となる</li> <li>・ 「若者を応援する町」という新しい武豊町の魅力醸成</li> <li>・ 放課後等に拠り所がない若者へ居場所を提供することで若者の悩み軽減に繋がる</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挑戦したい若者が集まり、活動の幅が広がる</li> <li>・ 若者を中心とし、幅広い世代と交流できる事業を展開することで団体の認知が向上し信用性が向上し、様々な分野の協働パートナーが増える</li> <li>・ 学生コミュニティが安定し、継続的な活動が可能になる</li> </ul>
<p>7 事業の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者×武豊をつなぐ多角的なアプローチ（イベント・SNS・交流）</li> <li>・ オンラインとオフラインの双方でつながりを強化</li> </ul>
<p>8 次年度以降の活動計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校と連携した選挙啓発活動</li> <li>・ 若者のスタートアップ支援や若者チャレンジ枠等の実施</li> <li>・ 地域団体との協働事例を増やす</li> <li>・ SNSでの発信強化（動画化・シリーズ企画）</li> </ul>
<p>9 その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町や団体と連携し、若者の活動が定着する仕組みづくりを検討</li> <li>・ 協賛やクラウドファンディング等で財源を多様化し、継続可能な運営体制を構築する</li> </ul>

※ 記入欄が不足するときは、別紙を添付してください。

